



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
コード番号 6250 URL <https://www.yamabiko-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久保 浩
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石井 宏明 TEL 0428-32-6111
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月9日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|--------------|--------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期中間期 | 86,406 | 7.8 | 11,386 | 11.4 | 12,672 | 19.2 | 10,047 | 49.6 |
| 2023年12月期中間期 | 80,153 | 0.6 | 10,224 | 60.6 | 10,630 | 40.5 | 6,718 | 14.8 |

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 16,716百万円 (57.1%) 2023年12月期中間期 10,640百万円 (△8.1%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|--------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期中間期 | 243.86 | — |
| 2023年12月期中間期 | 161.36 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年12月期中間期 | 154,168 | 102,633 | 66.6 | 2,498.49 |
| 2023年12月期 | 134,562 | 87,687 | 65.2 | 2,120.26 |

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 102,633百万円 2023年12月期 87,687百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 26.00 | — | 29.00 | 55.00 |
| 2024年12月期 | — | 40.00 | — | — | — |
| 2024年12月期（予想） | — | — | — | 40.00 | 80.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 160,000 | 5.7 | 17,500 | 23.0 | 17,000 | 20.9 | 13,000 | 42.9 | 315.50 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2024年12月期中間期 | 44,108,428株 | 2023年12月期 | 44,108,428株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期中間期 | 3,030,153株 | 2023年12月期 | 2,751,552株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2024年12月期中間期 | 41,203,413株 | 2023年12月期中間期 | 41,634,595株 |

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 7 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 7 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 8 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (中間連結貸借対照表に関する注記) | 10 |
| (中間連結損益計算書に関する注記) | 11 |
| (中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報等の注記) | 12 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日～6月30日)における当社グループを取り巻く市場環境につきましては、米国経済は金融引き締めが継続していることから企業の設備投資に減速感が見られたものの、良好な所得環境などに支えられて個人消費は底堅く推移しています。一方で、欧州は依然として景気・消費の停滞が続いています。また、国内においては堅調な企業収益を背景に設備投資が拡大するなど、景気の緩やかな回復が続いています。

このような環境の下、当社グループの主力である海外小型屋外作業機械(OPE: Outdoor Power Equipment)は、北米市場において第2四半期に行ったテレビ広告などのプロモーション効果に加え、個人消費が底堅く推移する市場環境に支えられ、ホームセンター向けを中心に好調に推移しました。

国内は、円安を背景とした資材価格の高騰などにより農林業従事者の購買意欲の回復が遅れている一方で、好天に恵まれ草木の生育が促されたことで、刈払機の販売が伸長したほか、遠隔操作可能なラジコン草刈機や畦草刈機など、草刈作業の省力化に寄与する製品の販売が好調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

| | 2023年12月期 中間連結会計期間 | 2024年12月期 中間連結会計期間 | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|--------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 売上高 | 80,153 | 86,406 | 6,253 | 7.8 |
| 国内 | 21,295 | 22,325 | 1,029 | 4.8 |
| 海外 | 58,857 | 64,081 | 5,223 | 8.9 |
| 米州 | 48,564 | 56,110 | 7,546 | 15.5 |
| その他海外 | 10,293 | 7,970 | △2,322 | △22.6 |
| 営業利益 | 10,224 | 11,386 | 1,162 | 11.4 |
| 経常利益 | 10,630 | 12,672 | 2,042 | 19.2 |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 6,718 | 10,047 | 3,329 | 49.6 |

[売上高]

海外は、主力の小型屋外作業機械において、北米市場で展開したテレビ広告などのプロモーション効果によりホームセンター向けを中心に伸長したことに加え、欧州市場において新しいモデルを投入したロボット芝刈機の販売が伸長したことにより、海外売上高は前年同期比8.9%増の640億円となりました。

国内は、農業用管理機械が新製品効果により増収となったことに加え、昨年からのディーゼル発電機の堅調な販売が継続したことで一般産業用機械も増収となりました。その結果、国内売上高は前年同期比4.8%増の223億円となり、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比7.8%増の864億円となりました。

[損益]

中国子会社の清算が小型屋外作業機械の原価低減に大きく貢献したことに加え、為替が円安に推移したことなどにより、営業利益は前年同期比11.4%増の113億円、経常利益は19.2%増の126億円、親会社株主に帰属する中間純利益は49.6%増の100億円となりました。

[セグメント別の概況]

① 小型屋外作業機械

| | 2023年12月期 中間連結会計期間 | 2024年12月期 中間連結会計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 58,913 | 百万円 65,112 | 百万円 6,199 | % 10.5 |
| 国内 | 7,530 | 7,400 | △129 | △1.7 |
| 海外 | 51,382 | 57,711 | 6,329 | 12.3 |

国内：円安に伴う資材価格の高騰による農林業従事者の購買意欲は引き続き回復が遅れていることから、チェーンなどの販売が減少しているものの、良好な天候を背景に刈払機の新製品が好調に推移し前年並みとなりました。

海外：欧州市場は、昨年の干ばつにより積み上がった在庫の圧縮を代理店が進めたことで、販売が減少したものの、北米市場において展開したテレビ広告などのプロモーション効果により、ホームセンター向けを中心に伸長するとともにラインアップを強化したバッテリー製品の販売が寄与し増収となりました。

② 農業用管理機械

| | 2023年12月期 中間連結会計期間 | 2024年12月期 中間連結会計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|-----------------------|-----------------------|------------|----------|
| 売上高 | 百万円 12,029 | 百万円 12,424 | 百万円 394 | % 3.3 |
| 国内 | 8,140 | 8,972 | 831 | 10.2 |
| 海外 | 3,888 | 3,451 | △437 | △11.2 |

国内：遠隔操作可能なラジコン草刈機や畦草刈機など草刈作業の省力化に寄与する製品の販売が好調に推移したことに加え、新製品である国内初の乗用型鶏舎向け防除機が売上に寄与し増収となりました。

海外：北米市場において穀物市況下落の影響を受けたことに加え、高い金利水準を背景に一部販売店に在庫圧縮を図る動きが見られたことで減収となりました。

③ 一般産業用機械

| | 2023年12月期 中間連結会計期間 | 2024年12月期 中間連結会計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 8,286 | 百万円 7,760 | 百万円 △525 | % △6.3 |
| 国内 | 4,700 | 4,844 | 144 | 3.1 |
| 海外 | 3,586 | 2,916 | △670 | △18.7 |

国内：好調な建設工事需要を背景にディーゼル発電機やディーゼル溶接機の販売が好調に推移したことで増収となりました。

海外：北米市場は旺盛な建設、エンターテインメント需要を背景にディーゼル発電機の堅調な需要環境が続いているものの、年初に一部製品で実施した改修などの影響を受けて減収となりました。

④ その他

| | 2023年12月期 中間連結会計期間 | 2024年12月期 中間連結会計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|-----------------------|-----------------------|------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 924 | 百万円 1,108 | 百万円 184 | % 20.0 |

主要3事業以外の売上高は、主要セグメントに含まれない生産子会社の売上高や商品等で構成されています。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて196億6百万円増加し1,541億68百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加129億66百万円、原材料及び貯蔵品の増加33億96百万円、現金及び預金の増加10億34百万円等によるものであります。

② 負債

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて46億60百万円増加し515億34百万円となりました。

その主な要因は、電子記録債務の減少35億47百万円、未払法人税等の増加20億98百万円、支払手形及び買掛金の増加20億62百万円等によるものであります。

③ 純資産

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて149億46百万円増加し1,026億33百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加88億38百万円、為替換算調整勘定の増加61億66百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント増加し、66.6%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローが31億43百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが17億15百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが8億21百万円の支出となりました。その結果、当中間連結会計期間末の資金残高は134億35百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益127億42百万円、減価償却費20億84百万円、売上債権の増加額108億30百万円、仕入債務の減少額41億42百万円、棚卸資産の減少額30億14百万円、法人税等の支払額17億12百万円等により、31億43百万円の収入(前年同期は118億77百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出20億43百万円等により、17億15百万円の支出(前年同期は23億18百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入54億円、長期借入金の返済による支出54億円等により8億21百万円の支出(前年同期は103億89百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績の進捗状況などを勘案し、連結業績予想の見直しを行った結果、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2024年8月9日)公表いたしました「2024年12月期 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|-------------|--------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,400 | 13,435 |
| 受取手形及び売掛金 | ※3 27,396 | ※3 40,363 |
| 電子記録債権 | ※3 4,456 | ※3 5,423 |
| 商品及び製品 | 31,572 | 30,787 |
| 仕掛品 | 3,269 | 2,917 |
| 原材料及び貯蔵品 | 16,619 | 20,016 |
| その他 | 3,112 | 2,355 |
| 貸倒引当金 | △381 | △397 |
| 流動資産合計 | 98,445 | 114,900 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,550 | 8,764 |
| 土地 | 7,771 | 7,879 |
| その他(純額) | 8,722 | 9,821 |
| 有形固定資産合計 | 25,044 | 26,465 |
| 無形固定資産 | 1,629 | 1,877 |
| 投資その他の資産 | | |
| 退職給付に係る資産 | 3,897 | 3,900 |
| その他 | 5,870 | 7,348 |
| 貸倒引当金 | △325 | △325 |
| 投資その他の資産合計 | 9,442 | 10,923 |
| 固定資産合計 | 36,116 | 39,267 |
| 資産合計 | 134,562 | 154,168 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|--------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | ※3 7,275 | ※3 9,338 |
| 電子記録債務 | ※3 11,400 | ※3 7,852 |
| 短期借入金 | 6,030 | 7,797 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,903 | 1,503 |
| 未払法人税等 | 774 | 2,873 |
| 賞与引当金 | — | 1,934 |
| 製品保証引当金 | 1,173 | 1,357 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 76 | — |
| 関係会社清算損失引当金 | 143 | 60 |
| その他 | 7,717 | 7,781 |
| 流動負債合計 | 41,494 | 40,500 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,800 | 8,200 |
| 退職給付に係る負債 | 47 | 49 |
| 製品保証引当金 | 405 | 449 |
| 役員株式給付引当金 | 184 | 187 |
| その他 | 1,941 | 2,147 |
| 固定負債合計 | 5,379 | 11,034 |
| 負債合計 | 46,874 | 51,534 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,000 | 6,000 |
| 資本剰余金 | 9,286 | 9,286 |
| 利益剰余金 | 61,235 | 70,073 |
| 自己株式 | △1,128 | △1,689 |
| 株主資本合計 | 75,393 | 83,670 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,431 | 2,023 |
| 為替換算調整勘定 | 9,336 | 15,503 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,526 | 1,436 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12,294 | 18,963 |
| 純資産合計 | 87,687 | 102,633 |
| 負債純資産合計 | 134,562 | 154,168 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 80,153 | 86,406 |
| 売上原価 | 53,863 | 57,232 |
| 売上総利益 | 26,289 | 29,174 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 16,065 | ※1 17,787 |
| 営業利益 | 10,224 | 11,386 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 11 |
| 受取配当金 | 51 | 62 |
| 持分法による投資利益 | — | 5 |
| 為替差益 | 672 | 1,386 |
| その他 | 157 | 169 |
| 営業外収益合計 | 895 | 1,635 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 458 | 265 |
| 支払手数料 | 9 | 63 |
| 持分法による投資損失 | 2 | — |
| その他 | 18 | 21 |
| 営業外費用合計 | 489 | 349 |
| 経常利益 | 10,630 | 12,672 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 90 |
| 投資有価証券売却益 | 19 | — |
| 特別利益合計 | 20 | 90 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 12 | 20 |
| 関係会社清算損 | ※2 523 | — |
| 特別損失合計 | 535 | 20 |
| 税金等調整前中間純利益 | 10,115 | 12,742 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,123 | 3,786 |
| 法人税等調整額 | 1,273 | △1,092 |
| 法人税等合計 | 3,396 | 2,694 |
| 中間純利益 | 6,718 | 10,047 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 6,718 | 10,047 |

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 中間純利益 | 6,718 | 10,047 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 374 | 591 |
| 為替換算調整勘定 | 3,568 | 6,142 |
| 退職給付に係る調整額 | △31 | △89 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 10 | 24 |
| その他の包括利益合計 | 3,921 | 6,668 |
| 中間包括利益 | 10,640 | 16,716 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 10,640 | 16,716 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 10,115 | 12,742 |
| 減価償却費 | 2,093 | 2,084 |
| 関係会社清算損益(△は益) | 523 | — |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | 17 | △131 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 0 | 1 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △0 | △29 |
| 受取利息及び受取配当金 | △65 | △74 |
| 支払利息 | 458 | 265 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,978 | 1,934 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △4,827 | △10,830 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 3,429 | 3,014 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △321 | △4,142 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 1,755 | 1,030 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 2 | △5 |
| 厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少) | △359 | △76 |
| 役員株式給付引当金の増減額(△は減少) | △90 | 2 |
| その他 | △294 | △721 |
| 小計 | 14,416 | 5,065 |
| 利息及び配当金の受取額 | 58 | 55 |
| 利息の支払額 | △484 | △265 |
| 法人税等の支払額 | △2,113 | △1,712 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,877 | 3,143 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △2,271 | △2,043 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 0 | 109 |
| 定期預金の預入による支出 | △202 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | 135 | 231 |
| その他 | 19 | △13 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,318 | △1,715 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △8,970 | 1,281 |
| 長期借入れによる収入 | 300 | 5,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △300 | △5,400 |
| 配当金の支払額 | △1,082 | △1,213 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △594 |
| その他 | △335 | △294 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △10,389 | △821 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 321 | 640 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △509 | 1,247 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,271 | 12,187 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | ※ 13,761 | ※ 13,435 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月13日開催の取締役会の決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式300,000株を取得いたしました。

この結果、当中間連結会計期間において自己株式が5億93百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が16億89百万円となっております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

1 偶発債務

次に掲げるものの借入金等に対し保証をしております。

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|-------------------|--------------------------|-------------------|---------------------------|
| やまびこ東日本地区農機商業協同組合 | 133百万円 | やまびこ東日本地区農機商業協同組合 | 250百万円 |
| やまびこ北海道地区農機商業協同組合 | 94 | やまびこ中部地区農機商業協同組合 | 149 |
| やまびこ西日本地区農機商業協同組合 | 35 | やまびこ東北地区農機商業協同組合 | 140 |
| やまびこ九州地区農機商業協同組合 | 31 | やまびこ北海道地区農機商業協同組合 | 81 |
| やまびこ中部地区農機商業協同組合 | 20 | やまびこ西日本地区農機商業協同組合 | 78 |
| | | やまびこ九州地区農機商業協同組合 | 75 |
| 計 | 314 | 計 | 774 |

2 債権流動化に伴う買戻義務

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|--------------|--------------------------|---------------------------|
| 債権流動化に伴う買戻義務 | 1,004百万円 | 1,902百万円 |

※3 中間連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務

中間連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の中間連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が中間連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|--------|--------------------------|---------------------------|
| 受取手形 | 302百万円 | 94百万円 |
| 電子記録債権 | 200 | 394 |
| 支払手形 | 7 | 6 |
| 電子記録債務 | 70 | 104 |

4 コミットメントライン契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行とコミットメントライン契約を締結しております。

当中間連結会計期間末におけるコミットメントライン契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年6月30日) |
|-----------------|--------------------------|---------------------------|
| コミットメントライン契約の総額 | 10,000百万円 | 10,000百万円 |
| 借入実行残高 | — | — |
| 差引額 | 10,000 | 10,000 |

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 給料手当 | 4,784百万円 | 5,368百万円 |
| 賞与引当金繰入額 | 745 | 739 |
| 退職給付費用 | 275 | 267 |
| 役員株式給付引当金繰入額 | 21 | 28 |
| 研究開発費 | 2,718 | 2,791 |
| 製品保証引当金繰入額 | 422 | 466 |
| 貸倒引当金繰入額 | 12 | 11 |

※2 関係会社清算損

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当中間連結損益計算書に計上しております関係会社清算損は、当社連結子会社である愛可機械(深圳)有限公司の解散を決議したことに伴う損失であり、主に従業員に対する経済補償金等であります。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 13,979百万円 | 13,435百万円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | △217 | — |
| 現金及び現金同等物 | 13,761 | 13,435 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|--------------|---------|---------|---------|--------------|--------------|-------------------------------|
| | 小型屋外作業 機械 | 農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 日本 | 7,530 | 8,140 | 4,596 | 20,268 | 921 | — | 21,189 |
| 米州 | 41,963 | 3,808 | 2,792 | 48,564 | — | — | 48,564 |
| 欧州 | 7,950 | 0 | 252 | 8,203 | — | — | 8,203 |
| その他 | 1,468 | 80 | 541 | 2,090 | — | — | 2,090 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 58,913 | 12,029 | 8,183 | 79,126 | 921 | — | 80,047 |
| その他の収益(注) 4 | — | — | 103 | 103 | 3 | — | 106 |
| 外部顧客への売上高 | 58,913 | 12,029 | 8,286 | 79,229 | 924 | — | 80,153 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 29,278 | 6,783 | 7,123 | 43,186 | 496 | △43,682 | — |
| 計 | 88,191 | 18,813 | 15,410 | 122,415 | 1,420 | △43,682 | 80,153 |
| セグメント利益 | 13,161 | 779 | 1,036 | 14,977 | 169 | △4,922 | 10,224 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△4,922百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年1月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|--------------|---------|---------|---------|--------------|--------------|-------------------------------|
| | 小型屋外作業 機械 | 農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 日本 | 7,400 | 8,972 | 4,747 | 21,121 | 1,104 | — | 22,225 |
| 米州 | 50,702 | 3,365 | 2,043 | 56,110 | 0 | — | 56,110 |
| 欧州 | 5,724 | 0 | 167 | 5,891 | 1 | — | 5,892 |
| その他 | 1,285 | 86 | 706 | 2,077 | 0 | — | 2,077 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 65,112 | 12,424 | 7,664 | 85,201 | 1,105 | — | 86,307 |
| その他の収益(注) 4 | — | — | 96 | 96 | 3 | — | 99 |
| 外部顧客への売上高 | 65,112 | 12,424 | 7,760 | 85,297 | 1,108 | — | 86,406 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 28,986 | 7,211 | 6,337 | 42,534 | 549 | △43,084 | — |
| 計 | 94,099 | 19,635 | 14,098 | 127,832 | 1,658 | △43,084 | 86,406 |
| セグメント利益 | 15,708 | 347 | 560 | 16,616 | 189 | △5,419 | 11,386 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△5,419百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社による孫会社の吸収合併)

当社は、2024年8月9日開催の取締役会において、当社100%出資の連結子会社であるエコー・インコーポレイテッドを存続会社とし、同社100%出資の子会社(当社の孫会社)であるゴールデンイーグルディストリビューティングを消滅会社として吸収合併することを決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(吸収合併存続会社)

| | |
|-----------|------------------------|
| 結合当事企業の名称 | エコー・インコーポレイテッド |
| 事業の内容 | 小型屋外作業機械、一般産業用機械の製造・販売 |

(吸収合併消滅会社)

| | |
|-----------|-----------------------|
| 結合当事企業の名称 | ゴールデンイーグルディストリビューティング |
| 事業の内容 | 小型屋外作業機械の販売 |

(2) 企業結合日

2024年9月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

エコー・インコーポレイテッドを存続会社、ゴールデンイーグルディストリビューティングを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

エコー・インコーポレイテッド

(5) その他取引の概要に関する事項

販売業務の効率化及び人員の最適化を図るとともに、ユーザーニーズの迅速な把握による販売機会の創出を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。